

高出力形

HNM4203V-PKU14
HNM4103V-PKU14

定格出力形

HNM4203V-PKN14
HNM4103V-PKN14

●電源は100～242Vまで対応 ●初期照度補正機能付照明器具

■器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。(施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。)

施工説明 工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。



警告

安全に関するご注意

- 取付工事は「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。
取付工事に不備がありますと、火災・感電・落下の原因となります。
- 壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。



注意

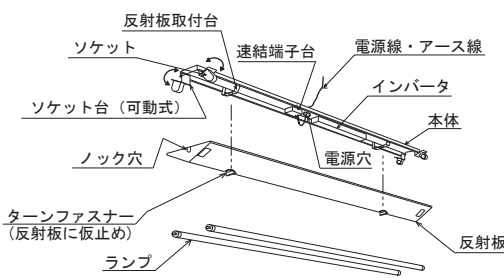
- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しないでください。
火災・感電・落下の原因となります。
- ホタルスイッチと組み合わせて使用する場合、手動リセットが動作しない場合があります。
ホタルスイッチは2箇所までとしてください。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。
- 絶縁抵抗試験は必ず500V以下の絶縁抵抗計を用いてください。保護機能が作動し不点灯の原因となります。

各部の名前と取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。

必ずして
ください

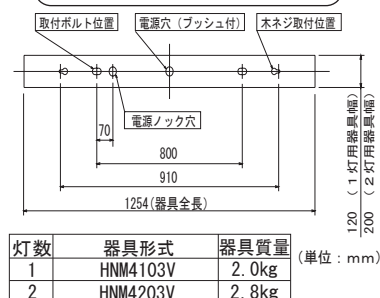
器具の取り扱いの際は必ず本体を持つようにする。反射板取付台を持つと変形し、反射板が取り付けられなくなります。



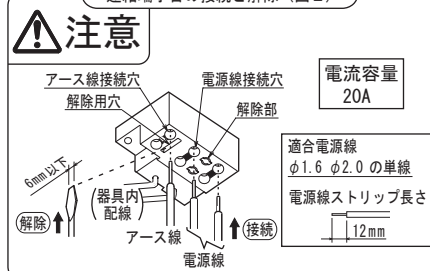
例図は2灯用

- 1、本体中央の電源穴(ブッシュ付)から、電源線・アース線を引き込む。
他の電源穴から電源線・アース線を引き込む場合は、本体中央の電源穴のブッシュを付けかえる。
- 2、器具本体を背面取付穴(図1)により、取付ボルトまたは木ネジで天井面に確実に取り付ける。
取り付けに不備がありますと器具の落下の原因となります。
 - 取付ボルトはあらかじめ天井面に用意し、器具質量(図1)に十分耐える強度を確保する。
 - 取付ボルトの出代は本体35mm以下にする。取付ボルトが出すぎると反射板が取り付けられなくなります。
 - 木ネジは天井面の強度的に十分な場所(器具質量(図1)に十分耐える補強のある場所など)に取り付ける。
- 3、電源線・アース線を連結端子台に接続する。(図2)
 - (1) 電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかりと差し込む。
差し込みが不十分ですと火災・感電の原因となります。
 - (2) 電源線・アース線は連結端子台に接続後、反射板に当たらないように処理する。
 - アースはアース線接続穴を使用しD種接地工事を行う。
 - 解除する場合は、径または幅6mm以下のドライバーで解除部を押し、電源線ははずす。
アース線は幅6mm以下のマイナスドライバーを解除用穴に挿入してはずす。
- 4、1灯用器具はソケットをソケット台に取り付ける。(2灯用は取り付けてあります。)
- 5、反射板を確実に取り付ける。(図3) 取り付けに不備がありますと反射板の落下の原因となります。
反射板を本体にセットし、押し上げながらターンファスナーを確実に90度回転させ、反射板を本体に固定する。(ターンファスナーは工場出荷時に反射板に仮止めされています。)
- 反射板を本体に取り付けた後のターンファスナーの向きは、1灯用と2灯用では異なりますのでご注意ください。
- 6、ランプを確実に取り付ける。取り付けに不備がありますとランプの落下の原因となります。
- 7、工事完了時にランプが正常に点灯するか確認する。

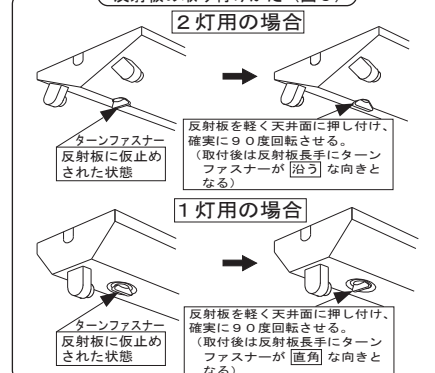
器具質量と背面取付穴(図1)



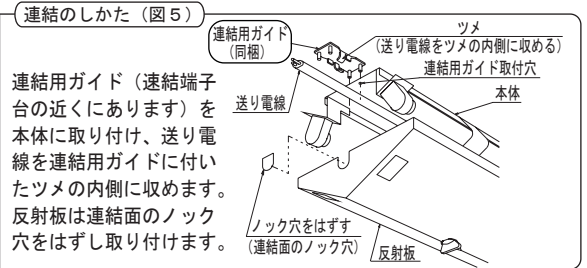
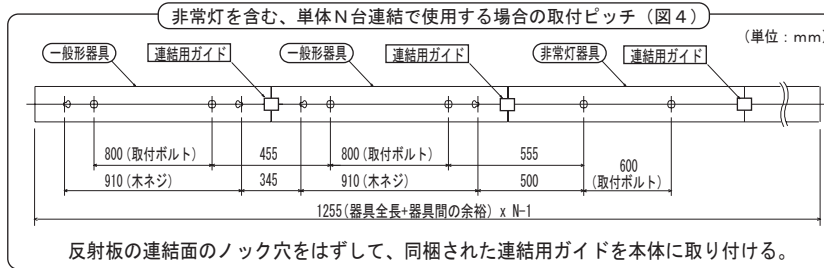
連結端子台の接続と解除(図2)



反射板の取り付けかた(図3)



- 非常灯を含む、単体N台連結で使用する場合は、(図4)の取付ピッチを参照ください。
器具の連結には、同梱の連結用ガイドで(図5)にしたがい器具を連結します。



取扱説明

お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全に関するご注意



警告

- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具やランプを布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しないでください。火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切ってください。火災の原因となります。
- ランプ交換やお手入れは、取扱説明書により確実に行ってください。火災・感電・落下の原因となります。



注意

- 器具の近くで温度の高くなるもの (ストーブ・ガスレンジ等) を使用したり、近くに燃えやすいものを置かないでください。火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、本体表示および、取扱説明書にしたがって指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災・不点灯・絶縁不良の原因となります。
- ランプだけを器具から取りはずしての間引き点灯はしないでください。火災・短寿命・絶縁不良の原因となります。
- 蛍光ランプには物をぶついたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたりしないでください。蛍光ランプの破損により、けがの原因となります。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をしてください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店・電器店に修理を依頼してください。
- 3～5年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には寿命があります。使用条件・使用環境で異なりますが、8～10年が交換の目安です。

使用上の ご注意

- 電波の弱い場所 (山間・鉄筋建物等) では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのは、お避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用は、お避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。

初期照度補正機能付照明器具使用上のご注意

初期照度補正機能とはランプ初期の余分な明るさを自動補正する機能です。
一般的に新しいランプは設計照度より30%程明るくなります。初期照度補正機能とは、ランプが新しい時の明るさを抑え、設計照度 (ランプ初期時の約70%の光束) を保つように、器具ごとに明るさを自動補正する機能です。
本器具には累積点灯時間を記憶するタイマーを内蔵しており、新しいランプに交換した場合は次の操作が必要となります。

- ランプを寿命末期まで使用の場合
寿命を検出し (間欠発振後、発振停止となります)、ランプを消灯して自動的にリセットします。ランプ交換後は、ランプの明るさが初期照度補正状態に戻ります。
- ランプを寿命末期前に交換する場合 (手動でのリセット操作が必要です。)
ランプ寿命前に新しいランプと交換する場合には、自動リセットが動作しないため、手動でのリセット操作が必要となります。

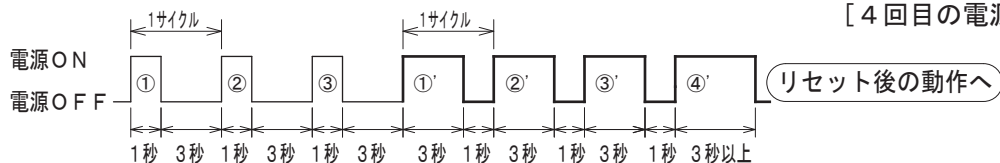
〔個別にランプ交換を行う時のリセット操作 (その器具だけをリセットする場合)〕

1. ランプを取り外す
2. 電源ON (1秒)、OFF (3秒) の操作を4回繰り返す [4回目の電源ONは3秒以上]
3. 新しいランプを取り付ける



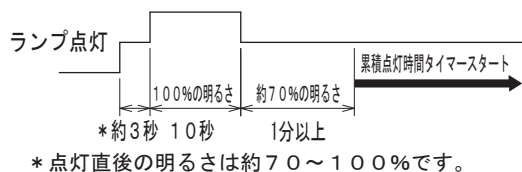
〔一斉にランプ交換を行う時のリセット操作(全ての器具を一斉にリセットする場合)〕
(全ての器具のランプを新しいランプに交換後、一括でリセット操作を行います。)

1. ランプを取り外す
2. 新しいランプを取り付ける
3. 電源ON(1秒)、OFF(3秒)を3回繰り返し、続けてON(3秒)、OFF(1秒)を4回繰り返す
[4回目の電源ONは3秒以上]

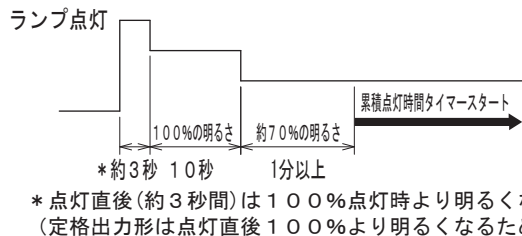


〔リセット後の動作(約13秒間は100%の明るさで点灯します)〕

●2灯用器具の場合



●1灯用器具の場合

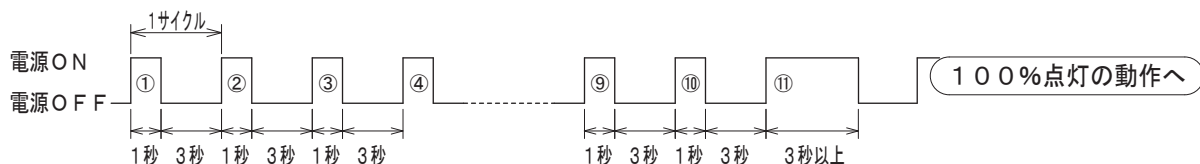


- リセット操作が完了しますと、点灯13秒後に約70%の明るさに変化します。
- リセット操作後、最初の点灯で左図の様に明るさが変化しない場合は、リセットが正しく行われていません。再度リセット操作を行ってください。
- リセット後の動作では、約70%の明るさに変化後1分間以上点灯させたままにしてください。
(初期照度補正機能の累積点灯時間タイマーがスタートしません。)
- 2回目以降の点灯からは照度補正された明るさで点灯します。
(2回目以降はリセット動作確認のための100%点灯状態(10秒間)の動作は無くなります。)

●その他の機能

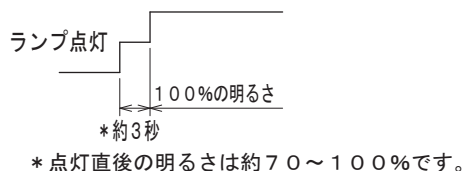
〔初期照度補正機能を解除する操作(100%点灯にする)〕
(この操作をすると、初期照度補正機能で記憶していた累積点灯時間がクリアされますので、ご注意ください。)

1. ランプを取り付ける
2. 電源ON(1秒)、OFF(3秒)を11回繰り返す[11回目の電源ONは3秒以上]

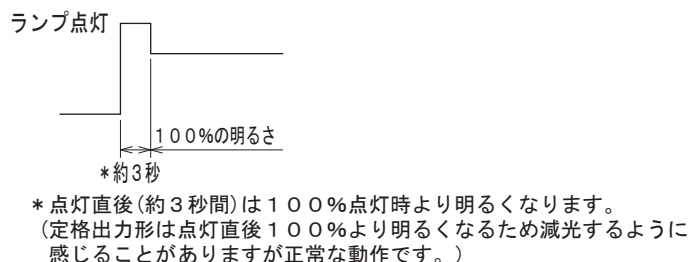


100%点灯の動作

●2灯用器具の場合



●1灯用器具の場合



- リセット操作の時間には幅を持たせていますが、操作をしてもうまく動作しない場合には、時計で1秒、3秒の時間感覚をつかんで操作を行ってください。



注意

- 2灯用器具の場合、ランプは2本同時に新しいものと交換してください。
- 器具・ランプの汚れに対する補正はできません。定期的な清掃をお勧めします。
- 蛍光ランプの明るさは点灯時間の経過につれて徐々に低下します。12000時間程度で交換して頂くのが明るさ維持の目安です。
- ホタルスイッチと組み合わせて使用する場合、手動リセットが動作しない場合があります。ホタルスイッチは2箇所までとしてください。

お手入れ・ランプ交換



必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。

- ランプの口金付近が黒ずみますとランプの寿命です。そのままご使用をつづけますと明るさが落ちるだけでなく、器具の寿命も低下させますので、新しいランプとお取り替えください。



禁止

みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。
また器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。
傷つき・変形・変色・サビの原因となります。

点灯中や消灯直後は、ランプが高温となっていますので手を触れないでください。
やけどの原因となります。



必ずしてください

ランプがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。
汚れが目立ちはじめましたら器具よりランプをはずし、きれいな布を
せっけん水に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふい
て仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。

お手入れなどでランプをはずし、再度取り
付ける場合は、ランプを確実に取り付けて
ください。取り付けに不備があると、
落下してけが・物損の原因となります。

この器具は Hf ランプ専用です。ランプ交換の際には右のマークが表示された高周波点灯専用ランプ
を必ずご使用ください。指定以外のランプを使用すると、火災・器具の破損の原因となります。

交換ランプ

FHF32 (高周波点灯専用ランプ)

Hf

保証について

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、電子安定器は3年間です。
- ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買上げの販売店（工事店）にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記の
ところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。



日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111

2010.10 KTA16592 R1